

令和3年度末 鉄軌道駅における駅の段差解消への対応状況について

令和4年3月31日現在

事業者名	総駅数	平均利用者 数が3千人/ 日以上の駅 数 A	平均利用者 数が3千人/ 日以上及び 重点整備地 区内の生活 関連施設に 位置づけられ た平均利用 者数が2千人 /日以上3千 人/日未満の 駅数 B	移動等円滑化基準第4条及び第18条の 2に適合している設備により段差が解消さ れている駅※1			改正前の移動等円滑化基準に適合してい る設備により段差が解消されている駅(平 成18年12月に施行された移動等円滑化 基準への適合状況)※2		
				うち平均利用 者数が3千人 /日以上及び 重点整備地 区内の生活 関連施設に 位置づけられ た平均利用 者数が2千人 /日以上3千 人/日未満の 駅数 C	平均利用者 数が3千人/ 日以上及び 重点整備地 区内の生活 関連施設に 位置づけられ た平均利用 者数が2千人 /日以上3千 人/日未満の 駅に対する 割合(%) (C/B)*100		うち平均利用 者数が3千人 /日以上以上の駅 数 D	平均利用者 数が3千人/ 日以上の駅 に対する割 合(%) (D/A)*100	
JR北海道	342	38	41	53	35	85.4%	53	33	86.8%
JR東日本	1,612	515	520	767	487	93.7%	769	485	94.2%
JR東海	403	101	101	146	98	97.0%	157	99	98.0%
JR西日本	1,172	346	354	508	332	93.8%	512	330	95.4%
JR四国	259	11	11	44	10	90.9%	45	10	90.9%
JR九州	566	97	102	216	96	94.1%	230	92	94.8%
JR旅客会社6社 小計	4,354	1,108	1,129	1,734	1,058	93.7%	1,766	1,049	94.7%
東武鉄道	201	124	127	145	125	98.4%	145	123	99.2%
西武鉄道	91	79	79	85	79	100.0%	85	79	100.0%
京成電鉄	65	58	58	59	58	100.0%	59	58	100.0%
京王電鉄	69	67	67	68	66	98.5%	69	67	100.0%
小田急電鉄	70	70	70	69	69	98.6%	69	69	98.6%
東急電鉄	87	85	85	86	84	98.8%	86	84	98.8%
京浜急行電鉄	72	72	72	72	72	100.0%	72	72	100.0%
相模鉄道	26	25	25	25	24	96.0%	26	25	100.0%
名古屋鉄道	272	134	136	212	122	89.7%	212	120	89.6%
近畿日本鉄道	283	146	148	163	136	91.9%	163	134	91.8%
南海電気鉄道	100	58	60	62	55	91.7%	65	56	96.6%
京阪電気鉄道	88	61	64	66	61	95.3%	66	60	98.4%
阪急電鉄	87	87	87	81	81	93.1%	81	81	93.1%
阪神電気鉄道	49	46	46	46	46	100.0%	46	46	100.0%
西日本鉄道	72	28	28	35	27	96.4%	35	27	96.4%
大手民鉄15社 小計	1,632	1,140	1,152	1,274	1,105	95.9%	1,279	1,101	96.6%
札幌市交通局	46	46	46	43	43	93.5%	43	43	93.5%
仙台市交通局	29	29	29	29	29	100.0%	29	29	100.0%
東京都交通局	94	94	94	87	87	92.6%	89	89	94.7%
東京地下鉄	139	139	139	139	139	100.0%	139	139	100.0%
横浜市交通局	40	40	40	40	40	100.0%	40	40	100.0%
名古屋市交通局	85	85	85	82	82	96.5%	85	85	100.0%
京都市交通局	31	31	31	31	31	100.0%	31	31	100.0%
大阪市高速電気軌道	100	100	100	96	96	96.0%	100	100	100.0%
神戸市交通局	26	25	25	19	18	72.0%	20	19	76.0%
福岡市交通局	35	34	34	35	34	100.0%	35	34	100.0%
地下鉄10社局 小計	625	623	623	601	599	96.1%	611	609	97.8%
JR、大手民鉄、地下鉄 小計	6,611	2,871	2,904	3,609	2,762	95.1%	3,656	2,759	96.1%
中小民鉄、路面電車等 小計	2,768	427	444	1,125	373	84.0%	1,184	389	91.1%
鉄軌道全体 合計	9,379	3,298	3,348	4,734	3,135	93.6%	4,840	3,148	95.5%
(参考) 令和2年度末の数値	9,411	3,251	3,301	—	—	—	4,744	3,090	95.0%

※1. 「移動等円滑化基準第4条及び第18条の2に適合している設備により段差が解消されている駅」とは※2「改正前の移動等円滑化基準に適合している設備により段差が解消されている駅」のうち、自社内での乗継経路に関する段差解消や主たる経路とバリアフリールートの経路の長さの差ができる限り小さくされている等の基準に適合している駅をいう。

※2. 「改正前の移動等円滑化基準に適合している設備により段差が解消されている駅」とは、基準に適合している設備(開閉とびらに窓があり、かご内に手すり等が設置されているエレベーターなど)により、乗降場ごとに、段差が解消された経路を1以上確保している駅をいう。

注) 1. 新幹線が乗り入れている在来線の駅であって、在来線の駅を管理する事業者が新幹線の駅も管理する場合、当該在来線の駅に新幹線の駅も含み、全体で1駅として計上している。新幹線の駅と在来線の駅を別々の事業者が管理する場合は、別駅として計上している。

注) 2. 2以上の事業者の路線が乗り入れる駅であって、事業者間の乗換改札口が設けられておらず、改札内で相互乗換えができる場合は、全ての事業者の駅を含めて全体で1駅として計上している。この場合、代表して1事業者に当該駅を計上している。